

# 原子力安全規制・原子力防災の充実・強化等に関する提言

## ポイント

- 令和4年5月の中間報告をフォローアップし、内外の最新情勢を踏まえ、提言としてとりまとめ。
- 「GX脱炭素電源法」の成立は、中間報告の実現に向けた大きな進捗。今後、高経年化炉に係る規制厳格化にあたり、効率的執行が課題。
- 原子力は安全最優先が大前提。その上で、効率的な審査は引き続き大きな課題。加えて、革新炉の規制基準の検討など新たな課題も提起。
- 関係機関に一刻も早い提言の実行を促すべく、今後も継続的に進捗を確認するとともに、高経年化炉の新たな規制の施行後1年を目処として、関係機関等の取組を検証し、必要に応じ更なる見直しを提言。

## 社会の中の原子力規制委員会

### (提言1) コミュニケーションの継続的改善

- 安全審査の情報を最も必要とする立地自治体に対し、審査状況を丁寧に説明
- 規制委と規制庁間、規制庁内の幹部と担当職員間における、理念共有・意思疎通の徹底
- 一次情報のみのウェブ掲載など一方的な情報提供ではなく、社会に理解してもらうことを意識した情報公開 等

### (提言2) 国際的視野に立った規制の点検

- 規制委員が細部まで直接審査を行う運用が、長期化の一因になっている可能性に留意
- 米国NRCに学び、審査原案の作成を事務方、委員会はその裁定に徹するといった、合議制委員会の趣旨を踏まえた役割分担を意識し、チェック&バランスを確保
- 自らの活動の改善に取り組むため、IAEAによる評価レビューの定期的受検 等

## 規制・運用のたゆまぬ改善

### (提言3) 効率的な規制の徹底

- 規制委の活動原則に「効率性」を明確に位置付け
- ヒアリングでの事実確認を元に、審査会合での論点等を整理し、事前に事業者に文書提示
- 地盤・プラントの並行審査を可能とする体制整備
- 事業者間の知見共有・人材支援で、審査対応を加速 等

### (提言4) 高経年化炉に係る新規制の効率的執行

- 実態に即した審査基準の早急な整備、効率的審査の徹底
- 再稼働審査も滞らないよう十分なリソースの確保、等

### (提言5) 事業者の自主的な安全性向上に向けた取組の促進

- 運転停止はかえって安全性向上を阻害するおそれ
- リスクに応じた適切なバックフィットルールの運用 等

### (提言6) テロ対策・武力攻撃対処の強化

- 柏崎刈羽原発の事案、ウクライナでの武力攻撃事案を踏まえ、テロ対策の強化・有事の実効力強化 等

### (提言7) 放射性廃棄物の管理・処分

- 安全確保上少なくとも考慮されるべき事項の提示
- クリアランス制度の活用拡大への具体的取組の推進 等

## 原子力防災の更なる充実

### (提言8) 原子力災害対応の実効性の向上

- 地域防災計画、避難計画の充実・強化、実効性の向上に不断に取り組む
- 防災支援組織の更なる充実、対応要員の対応力向上 等

### (提言9) 避難道路等の優先的な整備促進

- 避難道路などのインフラ整備や、航路などの避難経路の確保について、政府の責任において優先的に進める
- 緊急時避難円滑化事業の着実な実施・更なる拡充 等

## 新たな課題への対応

### (提言11) 革新炉の安全確保のあり方

- 次世代革新炉向けの規制基準の検討
- 開発段階から事業者等と意見交換
- リスク情報活用、事前レビュー制導入など、世界の最新動向を踏まえた規制運用 等

### (提言12) グレーデッド・アプローチによる規制最適化の徹底

- 廃止施設、燃料製造施設、研究施設等での、リスクに応じた規制の最適化徹底 等

## 原子力の安全確保に係る人材、産業、研究基盤の維持

### (提言10) 原子力の安全確保に係る基盤の強化

- 規制庁職員のキャリアパスに現場・海外の経験を必須とし、幅広い視野の人材育成を図る
- 学术界・産業界との人材交流拡大、規制庁のエージェンシー化による待遇改善等、思い切った人材確保策
- サプライチェーンの維持・強化や人材の育成・確保について、国を挙げての支援体制の確立など、改正原子力基本法を踏まえた政策のあり方を早急に具体化 等